

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 野村 義雄
幹事 深見 章
会報委員長 北野 寿三郎

No. 19

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束 — 平和に献身

1987~88年度 R I 会長 チャールズ・C・ケラー

第263回例会 昭和62年11月24日(火) 晴

◇ “それでこそロータリー”

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 54名 出席 40名

出席率 74.07%

前回 11月17日(修正出席率)98.15%

◇ ビジター紹介 6名

◇ お誕生日祝福

松居君(11/25)

◇ ニコボックス

渡辺 辰夫君 事業所を名東区上社に移転いたしました。よろしくお願ひします。

本日所用の為早退させていただきます。

菅原 宣彦君、大谷 和雄君 本日早退いたします。

谷口 暢宏君 ご無沙汰しました。

松居さん、ホール・イン・ワンおめでとうございます。

青山 敏郎君 本日の食べ歩きの会、色々お骨折り頂きながら度々欠席で申し訳ありません。

松居 敬二君 誕生日祝ひ。

◇ 深見幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方は2 F 橋の間にお集まり下さい。

◇ 野村会長挨拶

大分寒くなって参りましたが、本日も6名のお客様のご来訪と、会員多数のご出席の下に例会の持てることを感謝致します。

国際基軸通貨としてのドルが下り、円高が進行して、日々の為替相場の変化に神経が使われている状況であります。ごく最近迄金が金を生む財テクが謳歌されていたが、某社の財テク破綻から急速に反省が起り、かたがた世界的な株の暴落もあり、企業は本業に励まねばならないと、当り前の話が語られる様にな

なった。

何れにしろお金の話ですが、日本のお金、貨幣について、神戸大の神木教授が面白い事を書いておられるので、その一部をご紹介します。

日本では16世紀の戦国時代迄貨幣制度はなく、金銀は地金として使われる事はあっても、鋳貨として使われたことはなく、専ら銅銭、それも中国の宋王朝や明王朝が発行したもの、又は日本で商人が造ったものが取引の手段として使われていた。「贋金づくり」は中世の日本では自由であった。

17世紀に成立した徳川幕府が初めて貨幣鋳造権を独占し、慶長大判、小判、一分金、銀については慶長丁銀、豆板銀を発行した。銅については、慶長通宝、元和通宝などが発行され、現存しているが、発行者も発行地も不明で、なぞにつつまれたままである。その後徳川幕府が公貨として幕末に至る迄大量に発行したのは、寛永通宝で、法律上は昭和28年迄通用が認められていた。但し一厘として。

徳川幕府以前にも鎌倉幕府、宝町幕府というれっきとした政権が存在し、貨幣を必要とする経済発展があったのに何故貨幣制度が全く不十分であったのか、という事に対する的確な答えはまだ出ていない。

只、当時中国はアジア経済圏の中心国家であり、中国銅銭はこの地域の国際貨幣としての役割を担っていたので、日本の政権にとって、独自の貨幣を発行するよりも、中国銅銭を国内通貨として認める方がはるかに得策であったのだらうと推測する次第である。という趣旨の記事であります。

尤も東海銀行貨幣資料館には豊臣秀吉が、自らの富を誇示するために作らせた天正大判(長さ17cm、重さ165g)が展示されており、当時の記録によれば、大判1枚で米40石が買

えたとあり、現在の米価に換算すると300万円を超える超高額貨幣と言えますが、流通させるものではなく、富と権力を誇示する為に作らせたものですから貨幣とはその性格を異にします。

所で全アジアの経済を支配し、自国の貨幣を以て、アジアの通貨としていた頃の中国と現在の中国とを対比し、国際基軸通貨としてのドルの凋落に思いを致すとき、私たちは大きな歴史の一駒の中に存在していることを痛感する次第であります。

◇ 講演

“将棋と勝負”

将棋連盟八段（名古屋東R C会員）

板谷 進 氏 （紹介 安藤君）



1人の棋士を育てる事は仲々大変な事がありますが、4段から上のプロ棋士と言われる人を何人か誕生させる様に努力したいと思えます。私は現在48才で有りますが、60才になる迄努力すれば何とか成果が上るのではないかと考えております。

私は金という事は今迄余り考えた事ありませんが、今回だけは練成道場誘致に始めて金があるんだという事に気付いたわけで有ります。これも何とかかなとは思っておりますが、最近、私は対局観に付いて感ずる所があります。それは、勝負が有利な場合は最善手を続けていけば間違いなく、勝てるものであります。不利な場合いくら最善手を続けても、対局時間が長びくだけで勝てないものであるということです。

私共、勝負と芸術の分野とはやや違いますが、芸術の世界の先生は、例えば夜中に起きて制作に掛かるとか割にその喜びは、自由が有ると思うのですが、我々の世界では俗に赤紙と呼ばれる通知が何月何日に対局が有るからというのが来まして、これは何が有っても絶対で有ります。多少の例外は有りますが、その日、日時に行けなければ、不戦敗という事になります。大変敵しい大勢のファンの為に八百長を排し、公明正大な、真な試合をするためのものであります。

私が、中原に練習道場を作りたいと言うの

は、どうしても若い内から、育てませんと名古屋の人で有っても東京、大阪で育ってしましますと回りに色々世話をするファンの人があり一人前に大成しても地元の人の関係で育った場所でないとは駄目になります。そういった意味でどうしても、名古屋で育て、大成させる事が必要であります。

（文責 魚津）

第45回ゴルフ会成績

（小原C.C. 11/12(木)）

RANK	NAME	OUT	IN	G	H'cp	NET
優勝	小笠原 清	43	45	88	15	73
準優勝	成田 良治	46	48	94	19	75
3位	安藤銀之助	51	45	96	19	77
B B	大口 弘和	55	49	104	17	87

（参加者 16名）

第23回夫人ゴルフ会成績

RANK	NAME	OUT	IN	G	H'cp	NET
優勝	加藤 恭子	70	68	138	52	86
準優勝	小林 照子	51	54	105	19	86
3位	谷口 尚子	58	57	115	29	86

◇ 11月度理事役員会議

1. 新入会員候補者 承認の件。
承認する。職業分類もオープンする。
2. 1988～89年度理事役員 の件
年次総会（12月1日）にて全会員に承認を得る。
3. 事務局へファックスを設置する件
承認する。

◇ 住所変更のお知らせ

会 員 武内 清君
自 宅 〒465
名古屋市名東区梅森坂西2-110

会 員 渡辺 辰夫君
事業所 〒465
名古屋市名東区上社1-409
株式会社中部名古屋支店

TEL 776-9791

◇ 例会変更のお知らせ

名古屋名東R C 12/1(木) 青少年育成講演会の為、11/26(木)猪高中学校にて、PM 12:30より

豊山一城北R C 12/8(木) 年末家族会の為、12/12(土)八事ウィングにてPM 6:00より

名古屋北R C 12/11(金) I G F 全員登録の為、12/6(日)愛知県産業貿易館にてAM 10:00より

名古屋中R C 12/14(月)夫妻忘年会の為、PM 6:00より

◇ 次回例会（12月1日）

講演 “歌謡アラカルト”
朝日文化センター歌謡講師
沢田 久美 さん（紹介 太田君）